調査に関する事前評価済(H3O)

令和元年度 公共事業事前評価調書(簡易型)

国補 。事業説明シート (区分) 県単 山梨市 上岩下 砂防事業「通常砂防事業(国補)」 夕狩沢 山梨県 事業名 事業簡所 地区名 事業主体 笛吹市 春日居町桑戸 (3)事業の妥当性評価 (1) 事業の概要 妥当 妥当でない ①公共関与の妥当性(行政が行うべき事業か) ①課題·背景 \bigcirc 本渓流は、山梨市の南西部山間地、笛吹市の北東部山間地に位置し、2本の 砂防法第5条に基づいており、行政が行うことが妥当 支川からなっている土石流危険渓流であり、土砂災害警戒特別区域が広範囲に わたって指定されている。流域内は崩壊や渓岸浸食が進行し、渓床には不安定 ②事業執行主体の妥当性(県が行うべきか) \bigcirc 土砂、転石が堆積しており、台風や集中豪雨時には、土石流発生の危険が高 砂防法第5条に基づいており、砂防管理者の県が行うことが妥当 まっている。また、砂防施設が未整備であり、保全対象には人家160戸、公民 館、消防団詰所が存在しているため、土石流が発生すると甚大な被害を及ぼす 可能性がある。このため、砂防堰堤を早急に設置し、土砂災害を未然に防止す ③経済妥当性 る必要がある。 (整備率0%→100%) 総事業費 $R2 \sim R9$ 500 百万円 工期 基準年 R1 ②整備目標•効果 費用 438 百万円 便益 10.262 百万円 □主要目標 ○土石流被害の防止 建設費 438 百万円 -般資産被害抑止 1874 百万円 済 • 災害実績 無 629 百万円 維持管理費 百万円 人身被害抑止 効 整備前 整備後 公共土木施設等被害 502 百万円 妪 · 土砂整備率 0% →100% その他※ 7.217 百万円 流木整備率 0% →100% R/C 23.4 ・ 重要公共施設の有無 有(公民館、消防団詰所) ※その他は、人的被害(精神的損失)、応急対策(家計) (保全対象=人家160戸、市道6.663m) □副次目標 -費用便益比(B/C)は、国の採択基準1.0を超えている。 □副次効果 -④事業実施・規模の妥当性 \circ 流域の規模、地形、地質等から判断して最も効果的である (2) 整備内容と整備量 ①整備内容 ⑤整備手法の有効性 0 砂防堰堤1基 H=13.0m L=72.0m 土石流対策として、砂防堰堤の設置が最も効果的である ⑥環境負荷等への配慮 \bigcirc 掘削法面等に緑化等を行い環境負荷に配慮する **②着手年度** 令和2年度 ③完成見込年度 令和9年度 約500百万円(国費250百万円(5/10)県費250百万円(5/10)) ③総事業費 ⑦事業計画の熟度 \bigcirc 地元の要望に基づいており、地域の同意は得られている ⑤年度別の整備内容 (事業費) 令和2年度 詳細設計•用地測量 30 百万円 [貢献度ランク: a] 令和3年度 用地買収・工作物補償・管理用道路工 110 百万円 総合評価 令和4年度 砂防堰堤工事 60 百万円 令和5年度 60 百万円 (4) 事業位置図等 砂防堰堤工事 W=9.0(2.0) 万力八幡トンネル 令和6年度 砂防堰堤丁事 60 百万円 夕狩沢 (砂防堰堤) W=8.0 H±4.7 令和7年度 砂防堰堤工事 60 百万円 60 百万円 令和8年度 砂防堰堤工事 万力寺横 令和9年度 砂防堰堤丁事 60 百万円 ※記載内容は見込みであり、確定したものではない。

So-Po桑戸正徳寺跨線橋

大蔵経寺山トンネル

⑥既整備内容•期間•事業費

なし

2.添付資料シート







